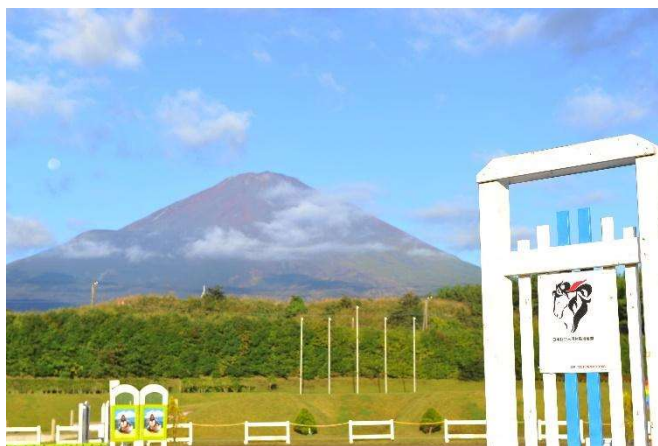


第 44 回 キャロットステークス

御協賛趣意書



日本社会人団体馬術連盟
(第 44 回 キャロットステークス 実行委員会)

ごあいさつ

拝啓、皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃から馬術の普及と馬事の振興に対し格別のご指導、ご支援を賜りまして心より厚くお礼申し上げます。

日本社会人団体馬術連盟について

本大会「キャロットステークス」を主催いたします「日本社会人団体馬術連盟」は、1968年に「社会人団体馬術同好会」として結成され、1976年に「社会人団体馬術連盟」、1979年に「日本社会人団体馬術連盟」と改称し、現在に至っております。当連盟は、各都道府県馬術連盟、全日本学生馬術連盟等その他の組成団体とともに、公益社団法人 日本馬術連盟の正会員として位置づけられ、日本馬術連盟に理事を派遣しています。

当連盟の会員は、官公庁や企業の職域をベースとする乗馬団体となっています。部員は、学生馬術界の出身者のほか、社会人になってから乗馬を始めた者も多く、平日は仕事に従事し、週末の余暇を乗馬に当てて楽しんでおり、「生涯馬術」を標榜し、日本における乗馬層の底辺拡大と健康的な社会づくりに貢献しております。当連盟および会員団体においては、自身が乗馬を楽しむだけではなく、一企業市民として、馬事の振興やスポーツ馬術の普及を通じ、持続可能な社会の実現に向けた社会的責任を果たしています。

当連盟は、会員団体及びその部員に向けた「全日本社会人馬術選手権大会」「全日本実業団障害馬術大会」、「JBG ホースフェスティバル」をはじめとする競技会の開催のほか、一般競技者向けに「キャロットステークス」を主催しており、また、国際大会としては日本と韓国で交互に開催される「日韓社会人親善馬術大会」を開催しています。このほか、馬術講習会や技能認定審査会、乗馬会ボランティア等を実施しております。これらの事業の企画立案、運営には、各会員団体の中から選出された理事および委員が中心となってあたっています。



＜全日本社会人馬術選手権大会＞



＜全日本実業団障害馬術大会＞



＜中上級馬場馬術講習会＞



＜乗馬会ボランティア＞

キャロットステークスとは

1980 年（昭和 55 年度）より続く本大会も、今回で第 44 回を迎えることができました。これも皆様方のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

当連盟が目指している大きな目的の一つに、乗馬層の底辺拡大があります。本大会はその一環として、当連盟の会員団体に限らず、幅広い乗馬愛好者を対象とした、日ごろの練習の技量検証の場、および参加者の相互交流の場として開催しております。例年の参加者の割合をみましても、当連盟の会員団体以外の参加者が 9 割以上であり、小学生から 60 歳を超えるシニア層まで、幅広い年齢層からのご参加は、乗馬・馬術が生涯スポーツであることを改めて想起させられます。

本大会で実施される競技には、大きく分けて障害馬術競技と馬場馬術競技の 2 つの種目があります。障害馬術競技(Jumping)は、障害が設置されたコースを走行するもので、馬場馬術競技(Dressage)は、馬をいかに正確にかつ美しく運動させるかを競うものです。本大会では各競技において難易度を変えたクラスを設定しており、参加者は自己のレベルに合った競技種目に出場することができます。こうしたことにより、初級者から上級者まで幅広い選手層が安全に楽しめる大会となっております。

例年、キャロットステークスは JRA 馬事公苑にて開催しておりましたが、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のため一時休苑中であることから、ナショナルトレーニングセンターの馬術強化拠点となっております、国内有数の馬術競技場である御殿場市馬術・スポーツセンターを会場に開催いたします。素晴らしい環境の下、馬場馬術競技では引き続き日本馬術連盟公認競技を一部実施するほか、障害馬術競技では低障害から中障害までのクラスを実施するなど、競技の一層の充実を図り、引き続き多くの方に参加いただけることを見込んでおります。また、引退競走馬の乗馬・馬術での活躍を支援するため、引退競争馬を対象とした競技も実施します。

本大会に協賛していただくことは、乗馬人口の更なる底辺拡大と日本のスポーツ馬術の拡大・向上に必ずや寄与するとともに、それらを通じた貴社の社会貢献活動をアピールする機会となるものと確信しております。本大会の趣旨にご賛同の上、何卒貴社に御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

2023 年 6 月吉日

日本社会人団体馬術連盟
会 長 山口 昇

日本社会人団体馬術連盟 加盟団体

《正会員団体》 17 団体

伊藤忠商事相互会乗馬部	梅村建工(株)馬術部
クリエティブテクノロジー乗馬愛好部	警視庁乗馬同好会
皇宮警察本部	社会人昭和大学ライディングチーム
衆議院乗馬会	SOMPO ホールディングス馬術部
都庁・特別区乗馬部	TOPPAN エッジ(株)馬術部
日本アイ・ビー・エム(株)馬術部	パナソニック馬術部
パナソニックシステムネットワークス(株)馬術部	富士通(株)馬術部
防衛省乗馬同好会	三井物産(株)乗馬部
レッキス工業(株)馬術部	

《準会員団体 および 維持会員》 15 団体

青波馬術愛好会	エグゼクティブコーチ(株)馬術部 (*)
NTT 馬術部 (*)	F. R. C. book farm
グーグル(同)馬術部	ソニー馬術部
TMG 乗馬同好会	中部国際空港馬術部
日本知的財産協会馬術部	日本電気保安協会馬術部
(株)日本馬事普及馬事研究部	日立グループ馬術部 (*)
(株)三菱総合研究所馬術部	山田コンサルティンググループ乗馬同好会
ヤフー乗馬部	

(*) 維持会員

《総会員団体数》 32 団体

(2023 年 6 月 現在)

第44回 キャロットステークス

開催概要

日 程	2023 年(令和 5 年)9 月 29 日(金) ～ 10 月 1 日(日)
開催場所	御殿場市馬術・スポーツセンター 静岡県御殿場市仁杉 2-1-1
主 催	日本社会人団体馬術連盟
予定競技	障害馬術競技： JBG キャロット選手権 障害馬術競技、馬旅賞 引退競走馬杯、 中障害 D 110cm クラス、小障害各 100cm クラス・90cm クラス・ 80cm クラス・70cm クラス・60cm クラス、ジムカーナ、ビギナ ーズジャンプ、フレンドシップ(60cm, 80cm, 100cm) 馬場馬術競技： JBG キャロット選手権 馬場馬術競技、引退競走馬杯、5 課目 A・4 課目 B・3 課目 A・3 課目 B (3/4/5 課目は日本馬術連盟公 認競技を含む)、2 課目 A・2 課目 B・2 課目 C、自由選択課目、 部班(駈歩、速歩)競技
エントリー見込	約 540 エントリー 参加団体数：40 団体 登録馬匹：120 頭
ホームページ	https://www.jbg.jp/carrotstakes



前回大会のご紹介

大会名	第43回 キャロットステークス
日程	2022年(令和4年)9月30日(金)～10月2日(日)
開催場所	御殿場市馬術・スポーツセンター 静岡県御殿場市仁杉 2-1-1
主催	日本社会人団体馬術連盟
実施競技	障害馬術競技： JBG キャロット選手権 障害馬術競技、馬旅賞 引退競走馬杯、 中障害 D 110cm クラス、小障害各 100cm クラス・90cm クラス・ 80cm クラス・70cm クラス・60cm クラス、ビギナーズジャンプ、 フレンドシップ(80cm, 100cm) 馬場馬術競技： JBG キャロット選手権 馬場馬術競技、JEF S1 課目・M1 課目・ M2 課目、L1 課目・L2 課目(S/L/M 課目は日本馬術連盟公認競技 を含む)、A1 課目、A2 課目、A3 課目、ジムカーナ競技、部班 (駈歩、速歩)競技
エントリー	全 526 エントリー 参加団体：37 団体 登録馬匹：116 頭

